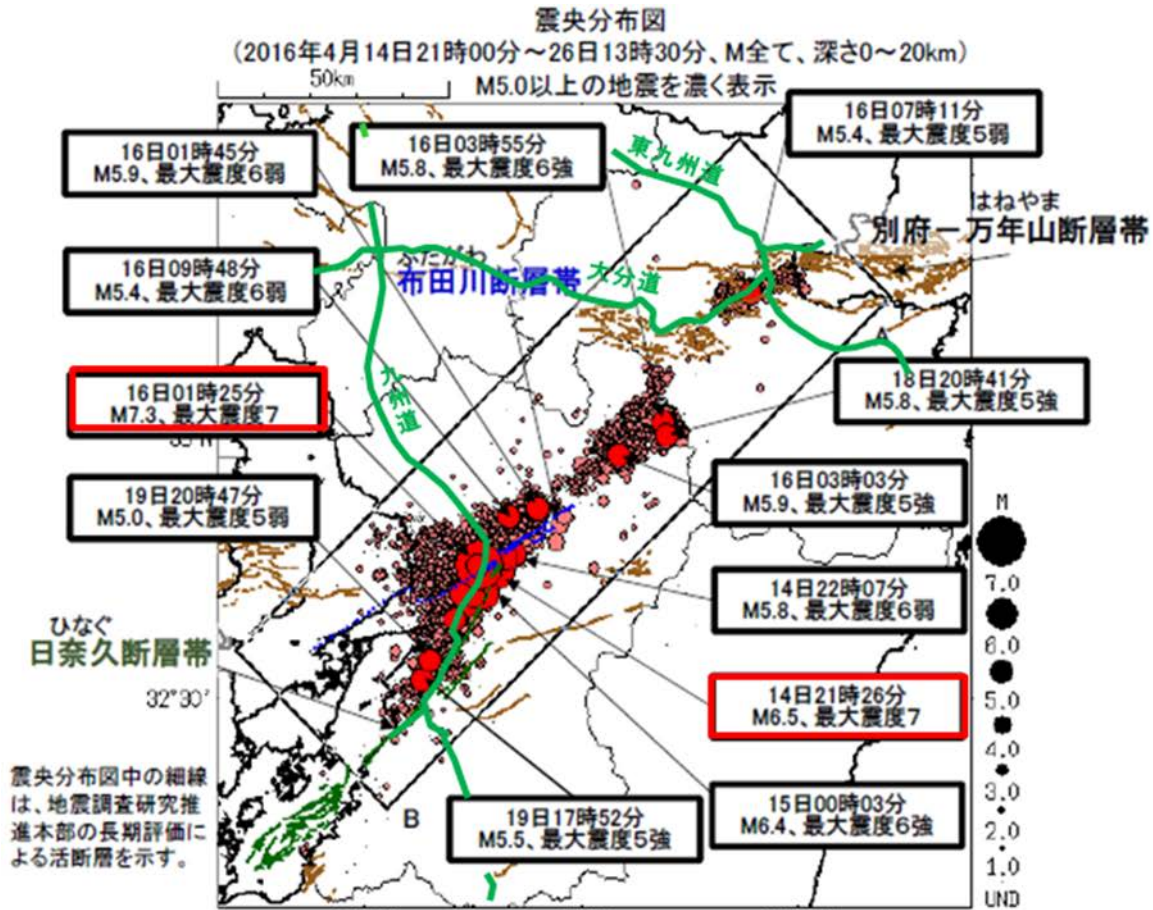


【別紙4】 今回の地震の概要

熊本地震の一連の地震活動は、4/14(木)21:26の震度7(前震)、約2時間30分後の4/15(金)0:03に震度6強の地震。そして、前震から約28時間後の4/16(土)1:25には、再び震度7(本震)を記録した。

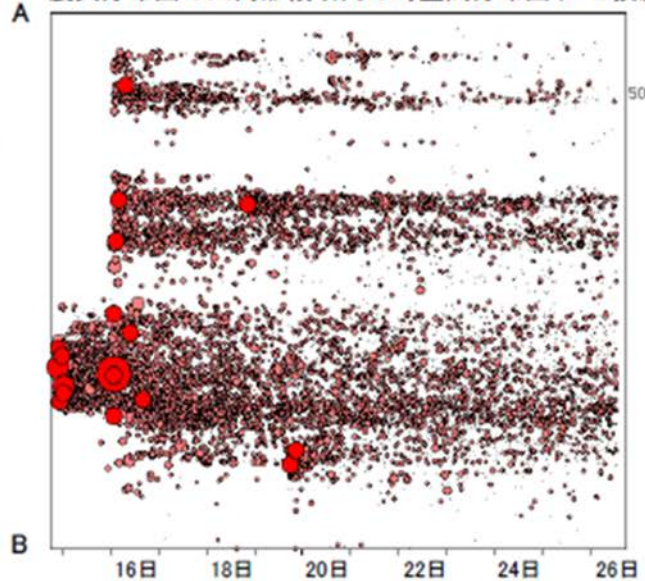
これほど短期間に震度7クラスの内陸直下型の地震が2回記録されたのは観測史上初めての経験とされている。

その後、297回(震度3以上)を超える長引く余震※と、震源が熊本県(布田川-日奈久断層帯)から大分県(別府-万年山断層帯)の約150kmを移動し、再び熊本県でも震度5強が発生するなど、類を見ない地震により、高速道路も大きな損傷を負った。 ※4/26 15:00 現在(気象庁発表)



最大震度5強以上の地震、16日07時11分の大分県中部の地震(最大震度5弱)、19日20時47分の熊本県熊本地方の地震(最大震度5弱)に吹き出しを付けている。吹き出し内の記載は暫定値。

震央分布図の四角形領域内の時空間分布図(A-B投影)



横軸は時刻、縦軸のA・Bは震央分布図の四角形領域の両端のA・Bと対応する。

(出典)「平成28年(2016年)熊本地震について(第32報)」H28.4.26 気象庁発表資料に、高速道路を追記